

平成 2 2 年のハタハタ漁獲状況について

平成22年12月10日

水 産 漁 港 課

本県のハタハタ漁は、沖合での底びき網と、一般に「季節ハタハタ漁」と呼ばれる沿岸での定置網及びさし網により行われている。

平成 2 2 年漁期である 9 月から翌年 6 月までの漁獲可能量は、2 , 4 0 0 トンで、その内訳は沖合 9 6 0 トン、沿岸 1 , 4 4 0 トンになっている。

現在の漁獲状況は以下のとおりである。

1 沖合における漁獲状況

本年 9 月 1 0 日から 1 2 月 9 日までの底びき網による漁獲量は約 3 6 4 トンで、前年同期の約 3 8 % となっており、漁場形成が遅れていたことが要因と思われる。

2 沿岸における漁獲状況

- 季節ハタハタ漁は、1 2 月 1 日に県北部の八森地区で 8 . 1 k g の初漁があり、これは昨年に比べ 7 日遅いものの、昨年は平成 7 年の自主禁漁解禁後で最も早い初漁であったことから、今年はほぼ平均的な初漁となっている。
- 翌 1 2 月 2 日から男鹿北の北浦地区を始め、次々と各地で初漁を迎え、1 2 月 9 日には最も遅い県南部でも初漁があった。
- 1 2 月 9 日までの沿岸における漁獲量は約 1 9 8 トンで、前年同期の約 3 2 % の漁況であり、盛漁期をこれから迎える。
- ハタハタのサイズは 1 歳よりも 2 ~ 4 歳の中 ~ 大型個体が漁獲の中心となっている（沖合も同様）。
- 地域別沿岸漁獲量は次のとおりである。

地 域 名	平成 2 2 年	平成 2 1 年
県 北 部	5 1 トン	1 1 8 トン
男 鹿 北	1 4 6	3 1 0
男 鹿 南	0 . 4	1 4 2
県 南 部	5 0 キロ	4 7
計	1 9 7 . 4 トン	6 1 7 トン

（ 1 2 月 9 日午後 5 時現在 ）